

安全登山講習会報告

2019年6月1日(土)、埼玉支部安全登山委員会では、テーマ『安全に山に登るためには』サブタイトル「山に行く、サイフにスマホに地図・コンパス」のハイキングレスキュー講習会を、飯能市市民会館会議室と付近の天覧山山中にて開催した。参加者は、講師を含む22名(支部員9名、一般13名)の40代から80代までの方々が集まった。

講師は、埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の遭難対策委員長である瀬藤武氏に依頼した。午前は室内にて、読図のための地図読みとスマホのGPS機能の確認。また、ツェルトを使った担架の作り方などを学んだ。

屋外講習は、天覧山に入り、手渡された地図で自分のいる位置を確認しながらの地図読み講習、木の幹やポールを利用してツェルトのテント設置。



斜面での滑落者救助活動をそれぞれが体験した。

瀬藤講師は、道迷いを避けるために登山道で2つまたは3つの条件を確認しながら進むこと。道をふさぐ3本の枝が横たわっていたら、行き止まりか急斜面など危険のしるしである。本来、ツェルトは被るもので、遭難時低体温症から守ってくれる。また、緊急用のテントにもなる。負傷者用の担架はツェルトで作ると素早くできると説明した。

